

仕事と地域防災、どちらも大切に。 働く消防団員を支える新しい制度がスタート。

《議第80号》

草津市消防団条例および草津市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例案



Q なぜ制度を改正することになったのですか。

A

これまでの調査で、「仕事や家庭の事情で消防団活動に参加できない」という団員が一定数いることがわかりました。市では、消防団の幹部会や各分団への聞き取りを重ね、団員の意見をもとに休団制度の創設を進めました。その結果、活動できない団員にも配慮しながら、全体として協力しやすい仕組みを整えることに合意しました。



Q 最近、消防団のなり手が減っていると聞きます。今回の改正でどう変わるのですか。

A

はい。全国的にも消防団員の約7割が会社員で、昔のように昼間に活動できる自営業の方が中心という状況ではなくなっています。そのため、災害現場での消火活動だけでなく、災害時に要配慮者の避難支援を行う仕組みとなる「機能別団員(災害時支援団員)」という新しい制度をつくりました。仕事や家庭の都合で現場に出られない方も、自分のペースで地域防災に関わることができます。



Q 今回の制度で、地域にはどんなメリットがありますか。

A

災害が大規模化・多様化する中で、人手や機動力の確保が課題でした。今回の制度改正により、より多くの人々が「できる形で」消防団に参加できるようになります。それによって、地域の防災力を維持・強化することができます。



▼他の付託議案についてのご紹介

《議第65号》

財産の取得につき議決を求めることについて

※災害時に迅速に物資を届けるための「集中型防災倉庫」を新しく整備します。

《議第79号》

草津市議会議員および草津市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案

※国の選挙制度に合わせて、物価上昇などを踏まえた印刷費の単価見直しを行いました。内容や制度の変更はありません。

新たな住宅開発に伴い、新たに8路線を認定。 今後も増える傾向なのか。

《議第81号》 市道路線の認定につき議決を求めることについて



Q 住宅開発に伴うものが多いが、全体でどれだけの路線となるのですか。

A

市内全域で2,367路線となり、今回の路線延長で、0.8km増の549.3kmとなります。



Q 住宅開発ごとに増えれば、市の管理が増え、その分管理保全に予算も伴います。ある程度の基準の統一が図られているのですか。

A

都市計画法第29条の規定などをもって、基準を定め指導しています。



Q 住宅開発先からの問い合わせなどがありますか。

A

開発前に問い合わせなどがある場合もありますが、草津市開発事業の手引などを用いて指導しています。



今定例会で新たに認定された8路線については、市ホームページに掲載している議案書の17ページ以降をご覧ください。



▼他の付託議案についてのご紹介

《 議第82号 》

市道路線の廃止につき議決を求めることについて

※1路線（集17号線）の廃止 ＜起点：川原町字赤子塚、終点：川原町字納豆田＞

令和7年度の一般会計補正予算を審査。 消防団活動費および中学校施設維持管理費の審査を紹介。

《議第74号》 令和7年度草津市一般会計補正予算（第3号）

【消防団活動費】

避難行動要支援者の避難支援に対応するため、国の「消防団の力向上モデル事業」の採択を受け、大規模災害時に活動する「災害時支援団員」の導入に係る所要額を計上。



Q

消防団の力向上モデル事業費（500万円）について、全額国費による事業ですが、この時期になったのはどうしてですか。また、簡易無線機、活動被服等の購入費となっていますが、その整備内容について確認します。

A

モデル事業として、令和6年2月に消防庁に事業提案書を提出し、令和7年4月に採択決定通知があり、機能別消防団の創設には条例改正が必要となるため10月になりました。無線機は全8分団に各6台ずつ、被服は個別団員としての災害時団員の総定数から調整を行い30名程度と見込んでいます。



【中学校施設維持管理費】

高穂中学校の職員室において、一部の空調が故障したことから、改修に係る所要額および債務負担行為を計上。



Q

高穂中学校の空調設備改修費（443万円）が計上されています。故障等の具体的内容および整備内容について確認します。

A

令和7年9月、令和元年に職員室を拡張しましたが、従前部分の空調が故障しました。今夏は、拡張部分の空調をサーキュレーターを利用して風を回したり、スポットクーラー等を使用して対応しました。故障した空調は、古いもので修理できないために新規の空調に入れ替えるものです。1月に契約できると、5月の施工となり、夏には間に合わせられると考えています。



▼他の付託議案についてのご紹介

《議第75号》

令和7年度草津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

《議第76号》

令和7年度草津市財産区特別会計補正予算（第1号）

《議第77号》

令和7年度草津市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

《議第78号》

令和7年度草津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

令和6年度の一般会計歳入歳出決算のうち、 総務常任委員会が所管する事業を審査。

《議第66号》 令和6年度草津市一般会計歳入歳出決算



Q

防災対策として感震ブレーカー設置補助金、防災対策備蓄購入費および災害用備蓄ミルク購入について伺います。

A

感震ブレーカー設置補助金は、10件20万円の予算でしたが、コンセントタイプのブレーカーもあり安価で5件の設置となりました。

防災対策備蓄購入費では、飲料水・パーテーション・トイレットペーパーを購入しました。

災害用備蓄ミルク購入費では、51万1千円で0～2歳児を対象として購入しました。賞味期限が1年6ヶ月でローリングストック※、1年経過したものは、市内のこども園においてヒアリングを行い、お配りしています。



※ローリングストック：災害や非常時に備えて日常的に食品や飲料、日用品などを備蓄しつつ、定期的に消費して補充を行う方法。



Q

職員のひと月あたりの時間外勤務目標は、平均20時間/人に対して実績は24.8時間/人となっています。超過の理由および削減に向けた対策について伺います。

A

対策については、今年度より職員個人単位での時間外実績を人事へ共有しています。時間外の理由は業務量・マネジメント・業務の質など様々な要因があります。来年度は時間外勤務削減に向けた対策をしていけるように配置等を考えてまいります。



▼他の付託議案についてのご紹介

《議第66号》

令和6年度草津市一般会計歳入歳出決算

※総合政策部、総務部、まちづくり協働部、会計課、議会事務局、監査委員事務局に係る内容について審査しました。

《議第68号》

令和6年度草津市財産区特別会計歳入歳出決算

令和6年度の一般会計歳入歳出決算のうち、 文教厚生常任委員会が所管する事業を審査。

《議第66号》 令和6年度草津市一般会計歳入歳出決算

【登校支援室の加配について】

登校支援室加配配置費については、不登校児童生徒の減少および教室復帰につなげるために、県加配配置校を除く小中学校に新たに加配教員を1人ずつ配置しました。その結果、こどもたちの学習機会の保障や社会的自立に向けた支援を充実させることができました。

(当初予算28,671千円／決算19,791千円)



Q どうして加配の先生を増やしたのですか。

A

不登校のこどもが増えており、個々に応じた支援が必要になっているためです。教室に戻るきっかけをつくるためには、こどもたちのペースに寄り添う支援が欠かせません。そこで、市内すべての小中学校に加配教員を1名ずつ配置し、登校支援室の体制を強化しました。



Q 予算と決算に差があるのはなぜですか。

A

当初、市は19人分の加配教員を見込んでいましたが、県から5人の追加配置があり、市単独では14名の配置で足りました。この人数の差が約1,000万円の差額として決算に表れています。



Q 配置したことで、どのような成果がありましたか。

A

登校支援室に通っていた児童生徒や不登校のこどもたちの約60%に、教室に戻れる、登校できる日が増えるなどの前向きな変化が見られました。大規模校と小規模校で人数差はありますが、概ね1名の配置で支援は行き届いています。今後も各校の状況を確認しながら、配置の見直しなどを行っていきます。



▼他の付託議案についてのご紹介

《議第66号》

令和6年度草津市一般会計歳入歳出決算

※健康福祉部、こども若者部、教育委員会事務局に係る内容について審査しました。

《議第67号》

令和6年度草津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

《議第70号》

令和6年度草津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算

《議第71号》

令和6年度草津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

令和6年度の一般会計歳入歳出決算のうち、 文教厚生常任委員会が所管する事業を審査。

《議第66号》 令和6年度草津市一般会計歳入歳出決算

【 健幸都市づくり推進費について 】

令和6年度は、前年度に引き続き、立命館大学と共同で研究を行いました。
働き世代の心身の健康状態（活力）を「見える化」し、その向上を図るため
の運動プログラムの開発を進めました。

（当初予算9,867千円／決算9,867千円）



Q どんな研究を行ったのですか。

A

健康と幸せを感じにくい働き世代に対して、効果的にアプローチする方法を探る研究です。心身の状態を測定し、活力を高めるための運動プログラムの開発に取り組みました。



Q 研究の成果は何ですか。

A

令和7年に向けて、立命館大学・家光研究室監修による運動プログラム動画「くさつ健幸BOOST」を制作しました。市民公開講座で披露し、その後、市公式YouTubeチャンネルに公開しています。



Q 今後はどのように活用していきますか。

A

市民が多く集まるイベントや、企業・事業所の健康づくりの場で紹介し、多くの方に取り組んでもらえるよう広げていきます。



▼他の付託議案についてのご紹介

《 議第66号 》

令和6年度草津市一般会計歳入歳出決算

※健康福祉部、こども若者部、教育委員会事務局に係る内容について審査しました。

《 議第67号 》

令和6年度草津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

《 議第70号 》

令和6年度草津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算

《 議第71号 》

令和6年度草津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算